

『授業改善推進チーム活用事業』の実践

剣淵町立剣淵小学校 学級数6(2) (校長 温泉 敏)

1 実践の概要

3年目の実践はそれまでの2年間の取組を踏まえ、授業改善推進チームの動きが円滑に進むよう町教育委員会と連携するとともに、校務分掌との関連を見直し、本事業の意義を改めて全教職員と確認し推進している。

2 これまでの課題

2年間の取組において、大きな課題となっていたのは、事前・事後の打合せ時間の確保である。本事業の効果的な推進には授業改善推進教員と教職員の打合せは不可決であることから、3年目は次の取組を行った。

3 今年度の取組

【取組1】 教育委員会との連携

剣淵町教育委員会の指導を受けながら、年度当初に全教職員に改めて事業の趣旨を校長から説明した。また、「令和2年度小学校教育課程編成の手引」に掲載されている「授業づくりの基本」を活用し、授業改善に係る取組の具体について全教職員で確認した。

【取組2】 授業改善推進教員不在時の取組

上川教育局の指導を受けながら、授業改善推進教員不在時の授業改善について、以下の内容で推進した。

★ 授業改善の視点 ★

◎ 「身に付けさせたい力」を明らかに

① 「指示」とその「確認」

- 作業が分からない、手が止まっている子がいないかどうか。
- 確認後の状況による「形成的評価」

② 学習過程での終末を意識した授業デザイン

- 終末の「時間確保」を目指す(概ね10分)
→ 「まとめ・復習・振り返り」の実行

【「授業改善の視点」を整理及び掲示】

①	推進教員勤務週 (1週間)	・各学級担任の授業改善に向けた助言
②	推進教員勤務 最終日	・放課後に推進教員3名、管理職で①勤務週の反省及び③不在週に向けた話し合い → 授業改善の重点を決定
③	推進教員不在週 (2週間)	・月曜日の朝の打合せで②勤務最終日に協議した事項について全教職員で確認 ・月の学校経営推進計画(校長提示)に記載 ・職員室内に「授業改善の視点」を掲示(右上の表) ・管理職からも授業参観等により助言
④	推進教員勤務週 (1週間)	・③不在週の取組の確認 ・各学級担任への指導・助言

【取組3】 校内研修との連動

今年度の本校の校内研修は、1人1台端末を活用した授業研究である。全教職員が授業改善の一步前進を目指し、写真、動画及び学習支援ツール等を活用し、授業づくりを進めている。ここでも授業改善推進教員からの助言を重視し、若手とベテランがともに高め合っている。

4 取組の成果

これまで成果は以下の通りである。

- ・「授業づくりの基本」に基づき、授業改善推進教員とともに授業改善を推進したことにより、「TK式観点別到達度」において、第4学年及び第6学年の国語科及び算数科の総合で向上が見られた。
- ・授業改善推進教員不在の2週間の授業改善の視点を示したことで、話し合いの視点が明確になり、お互いにより関係で取組を進めることができた。
- ・授業改善推進教員の助言を受けながら、校内研修の充実を図ったことにより、多くの授業でICT端末を活用し、授業改善に結び付けることができた。